



武器庫襲撃

開始条件: レベル5のスカウンドレリル

目的: 宝箱の略取、かつ敵の全滅

序幕:

「ちょっとした仕事に、興味あるか?」左頬に長い傷のある、でかい体のヴァルラスが、立ちはだかって君を見下ろした。

すえた臭いの《焦げタマネギ》亭にいる奴らは、みな後ろ暗い仕事を求めている。客として水で薄められた小使味のビールを呑みに来ているとかは、ありえない。そのヴァルラスに対して、できるだけ軽薄に見えるように話をした。すると彼は嘲笑した。

「いいな。お前は戦いのなかでも、自己を律することができるように見える。おれたちは、ちょっとしたタフな顧客と事をかまえるつもりなんだ」

彼はこちらのテーブルに座り、自己紹介をしてきた。名はリカーン。そして異客区にある、ちっぽけな傭兵ギルド所有の武器庫について話し始めた。

「そのギルドは明晩、ちょっとした狩りに出かけるのさ。だから武器庫には、たいして護衛なんか残っていない」リカーンは言った。「残された連中は十分な装備をしているだろうが、おれたちふたりでなら、相手できるはずさ」

今のところ他に具体的な仕事の予定もなく、その申し出に同意した。それが今ここにいる理由だ。

翌晩、リカーンはグルームヘイヴン北側にある高級そうな屋敷まで案内してくれた。その周囲を歩き、地下室に通じる隠し扉から侵入する。彼は歯をむき出して笑いながら突進し、階段を下りて行った。

特別ルール:

リカーン **a** は、シナリオ補助トークンの数字トークンであらわされます。HPは $15 + (5 \times L)$ です。君の間であり、全タイプのモンスターの敵です。

その行動順位は 49 で、各ラウンド「移動 **4**、攻撃 **4**」のアクションを実行します(モンスター攻撃修正カードの山を使ってください)。

すべての街の衛兵は、装甲 **+3** となります。すべての石のゴーレムは、装甲 **+4** となります。宝箱を略取した時点でリカーンが生きているなら、**①** を読んでください。リカーンが倒れていたなら、宝箱の略取後、敵が全滅した時点でこのシナリオは完遂されます。



宝箱のフタを持ち上げ、覗きこんだが、そこには一本の錐刀しかなかった。困惑し、リカーンにもよく見えるよう、フタを手で支えたままにする。

「これだけか?」彼も同様に驚いている。「まあいいさ、そいつをよこせ。お前はそこらの死体の懷からでも、ちょろまかすがいいさ」

笑って無視し、錐刀を自分の懷に収めた。リカーンの顔はどす黒くなり、剣を抜いて突きつけてくる。「そうかい。思うんだが、目撃者ってのは消しちまうに越したことはないよなあ」

特別ルール:

リカーンは今や敵となりました。全タイプのモンスターの敵でもあります。その HP は、宝箱が略取される以前と同じです。行動順位やアクションについても同じです。このシナリオは、リカーンを含む敵が全滅したとき、はじめて完遂となります。

終幕:

そして誰もいなくなった。宝は君のものだ。この虐殺の場面から、痕跡を残さないようにして静かに立ち去る。仕事は巧く片づいた。

報酬:

アイテム 137 番〈無音の錐刀〉

使用する
地形タイル:

E1a
H1b
A2a
B2b

